

AD-10 は、プリアンプに加え、エフェクト、ルーパー、ダイレクト・ボックスが一体になった、アコースティック・ギタリストのためのライブ機器です。



目次

準備する	2
機器を接続する	2
フットスイッチやエクスプレッション・ペダルを接続する	3
電源を入れる／切る	3
入力の設定	4
入力感度を調節する	4
GUITAR IN 1、2 の切り替え／バランス	4
ギターをチューニングする (チューナー)	4
マニュアル／メモリー・モード	5
マニュアル・モード	5
メモリー・モード	5
メモリーの保存	5
メモリーの初期化	5
エフェクトを設定する	6
EQ (イコライザー)	6
BOOST (ブースター)	6
FX LOOP (エフェクト・ループ)	6
ANTI-FEEDBACK (アンチ・フィードバック)	7
ACOUSTIC RESONANCE (アコースティック・レゾナンス)	7
COMP (コンプレッサー)	7
DELAY/CHORUS (ディレイ／コーラス)	7
AMBIENCE (アンビエンス)	7
サブ・パラメーターの設定	8

ルーパー	9
進んだ使いかた	10
出力の設定	10
アンビエンスの出力設定	10
ストップ・ペダルの設定	11
システム設定	11
GUITAR IN 1、2 に個別の EQ を設定する	11
ペダルの機能を設定する	12
その他の機能	12
USB モニターの設定	12
オート・オフの設定	12
STARTUP MODE	12
工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)	13
資料	14
主な仕様	14
安全上のご注意	14
使用上のご注意	14

準備する

機器を接続する

LINE OUT (L/PHONES, R/MONO) 端子

ギター・アンプ、またはヘッドホンに接続します。
※ ヘッドホンは L/PHONES に接続してください。
※ モノで出力するときは、R/MONO 端子だけに接続してください。

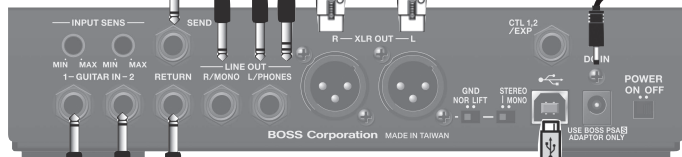


XLR OUT (L, R) 端子

PA 機器等に接続します。
※ XLR OUT (L, R) 端子 (バランス・タイプ) のピン配列



リア・パネル



DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。
※ AC アダプターを使用するときでも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。



USB COMPUTER 端子

市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続して、AD-10 とパソコンとの間でオーディオを送信/受信します。AD-10 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を AD-10 のアウトプット端子から出力したりすることができます。



GUITAR IN (1, 2) 端子

ギターを接続します。
タイプの異なる 2 種類のピックアップをブレンドしたり、2 本のギターを接続したりすることができます。



後付けピックアップ

内蔵ピックアップ

SEND、RETURN 端子

外部エフェクターを接続します (モノ)。
SEND 端子に外部エフェクターのインプットを、RETURN 端子に外部エフェクターのアウトプットを接続します。

RETURN→OUTPUT

SEND→INPUT

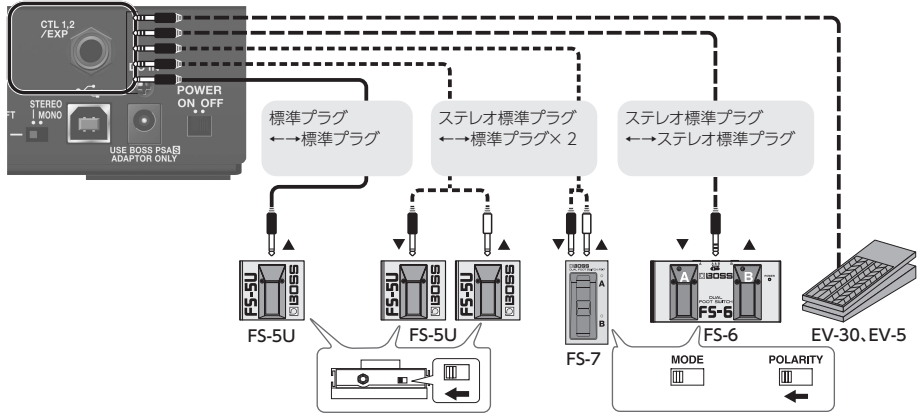


※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞リ、すべての機器の電源を切ってください。

フットスイッチやエクスプレッション・ペダルを接続する

CTL1.2/EXP 端子に、フットスイッチ (FS-5U、FS-6、FS-7: 別売) やエクスプレッション・ペダル (FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5: 別売) を接続すると、さまざまな機能を割り当てることができます。[ペダルの機能を設定する] (P.12)

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になることがあります。



電源を入れる／切る

出力機器 (ミキサーやアンプなど) の入力ゲインやボリュームが下がっていることを確認してから接続し、電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作やスピーカーなどを破損する恐れがあります。



- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ 電池が消耗してくると、ディスプレイに「bL」と表示されます。その場合は、新しい電池と交換してください。

準備する

入力の設定

AD-10 には 2 チャンネルの入力端子 (GUITAR IN 1, 2) が装備されています。ピエゾ+マグネティックなど、2 種類の違うピックアップを好みのバランスでブレンドしたり、ライブで使用する 2 台のギターを接続して切り替えたりすることができます。



入力感度を調節する

リア・パネルの [INPUT SENS] つまみで入力感度を調節してください。最大入力時にトップ・パネルの INPUT インジケータがオレンジ色点灯する程度に調節します。入力レベルが大きすぎるときは、INPUT インジケータが赤点灯します。

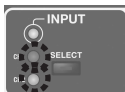


GUITAR IN 1, 2 の切り替え／バランス

GUITAR IN 1, 2 端子両方を使用しているときは、1, 2 のオン/オフを切り替えたり、1, 2 を両方オンにして、ミックスのバランスを調節したりすることができます。

1. [SELECT] ボタンを押します。

ボタンを押すたびに 1, 2, 1+2 (MIX) が切り替わります。オンになっている入力のインジケータ (CH1, CH2) が点灯します。



CH1 / CH2 のバランスを調節する

1+2 (MIX) にすると、CH1, CH2 両方のインジケータが点灯し、バランスを調節することができます。

1. [SELECT] ボタンを数回押して 1+2 (MIX) を選びます。

CH1, CH2 両方のインジケータが点灯します。また、ディスプレイには 1 と 2 のバランス設定値が表示されます。



2. [▼] [▲] ボタンで設定値を変更します。

表示 CH1 : CH2 ミックス・バランス
0 ~ 50 ~ 99 100 : 0 ~ 50 : 50 ~ 0 : 100 (初期値 : 50)

ギターをチューニングする (チューナー)

1. [TUNER & MUTE] ペダルを押します。

ギターがミュートされ、チューナーがオンになります。

2. [▼] [▲] ボタンで、基準ピッチを合わせます。

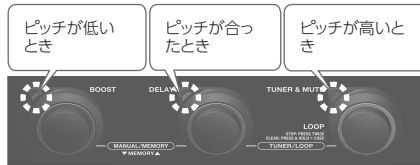
表示	ピッチ
35 ~ 45	435 ~ 445Hz (初期値 : 440Hz)

3. チューニングする弦を、開放の単音で弾きます。

弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。

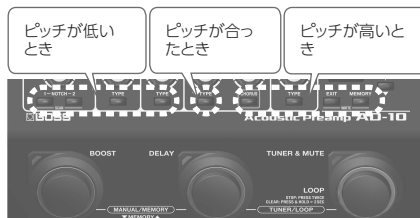
※ 表示例 : (E) (C#) # 記号

4. [DELAY] ペダルが点灯するようにチューニングします。



メモ

チューナーがオンのときに、[MENU] ボタンを押すと、チューナーの表示モードが変更することができます。ペダルの上のボタンでもチューニングの状態を表示することができます。



[MENU] ボタンを押すたびに、表示モードが以下のように変わります。

表示モード	説明
PP PANEL & PEDAL	ペダルの LED と、ボタンの両方でピッチの上下を表示します。
Pd PEDAL	ペダルの LED のみで、ピッチの上下を表示します。
Pn PANEL	ボタンのみで、ピッチの上下を表示します。

5. チューナーをオフにするときは、ペダルのいずれかを押します。

マニュアル／メモリー・モード

マニュアル・モード

AD-10 を起動すると、パネルのつまみ位置に合わせて音色効果がかかるマニュアル・モードになります。

- ディスプレイにドットが表示されます。つまみを動かすと設定値を表示します。
- ペダルでエフェクトのオン／オフができます（青LED）。

BOOST のオン／オフ

DELAY のオン／オフ



メモリー・モード

[MEMORY] ボタンを押して赤点灯させると、メモリー・モードになります。エフェクトの組み合わせと設定（音色）を 10 個の「メモリー」として保存／呼び出しができます。



2 つのペダルを同時に押しても、マニュアル／メモリー・モードを切り替えることができます。



- ディスプレイにメモリー番号が表示されます。
- ※ 設定を変更すると、ディスプレイにドットが表示されます。
- ペダルでメモリーの切り替えができます（赤 LED）。

メモリー番号 ▼ / ▲



ストップ・モード

メモリー・モードのときに、図の 2 つのペダルを同時に長押しするとストップ・モードになります。ペダルでエフェクトのオン／オフができます（青 LED）。

BOOST のオン／オフ

DELAY のオン／オフ



メモリーの保存

好みの設定を保存することができます。

- [EXIT] ボタンを押しながら、[MEMORY] ボタンを押します。
ディスプレイに「Bn」(Write) と点滅表示されます。
- [MEMORY] ボタンを押します。
ディスプレイにメモリー番号が表示されます。
- [▼] [▲] ボタンで保存先のメモリーを選びます。
- [MEMORY] ボタンを押します。
[MEMORY] ボタンとディスプレイの表示が、高速点滅します。

メモ

エフェクトごとにメモリーに保存するかマニュアル（つまみ位置）で使用するかを設定することが可能です（P.12）。

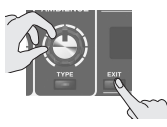
メモリーの初期化

現在選んでいるメモリーの設定を初期化します。

- [EXIT] ボタンを押しながら、[MEMORY] ボタンを押します。
ディスプレイに「Bn」(Write) と点滅表示されます。
 - [▲] ボタンを押して、「1n」(Initialize) を選びます。
[MEMORY] ボタンが赤点滅します。
- ※ キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。
- [MEMORY] ボタンを押します。

つまみ／ボタンの設定値の確認

- [EXIT] ボタンを押しながらつまみやボタンを操作することで、設定値を変更せずにディスプレイに設定値を表示させることができます。
- メモリー・モードで設定（音色）を呼び出したときは、設定値とつまみの位置が合っていません。たとえば、つまみの設定値が 12 時の方向で、つまみの位置が左端にあったとき、つまみを回して 12 時を過ぎるまで設定値が変更されません。
- ※ 設定を変更すると、ディスプレイにドットが表示されません。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

エフェクトを設定する



EQ (イコライザー)

音色を調節します。



[BASS] つまみ

低音域の音量を調節します。

[LOW CUT] ボタン

オンにすると、設定された周波数以下の帯域をカットします。ボタンを押すと、ディスプレイに設定されている周波数が表示されます。【▼】【▲】ボタンで設定値を変更します。

設定値	説明
1 ~ 99	10 ~ 990Hz

[MID] つまみ

中音域の音量を調節します。

[FREQ] ボタン

【MID】つまみで調節する周波数帯域を設定します。ボタンを押すと、ディスプレイに設定されている周波数が表示されます。【▼】【▲】ボタンで設定値を変更します。

設定値	説明
20 ~ 50	200Hz ~ 5.0kHz

[TREBLE] つまみ

高音域の音量を調節します。

[PRESENCE] つまみ

中／高音域につやのある輪郭を与えます。音の抜けをよくしたいときに効果的です。

[LEVEL] つまみ

イコライザー全体の音量を調節します。

[ON/OFF] ボタン

イコライザーのオン／オフを切り替えます。

メモ

GUITAR IN 1、2に個別のEQを設定することができます。詳しくは「GUITAR IN 1、2に個別のEQを設定する」(P.11)をご覧ください。

BOOST (ブースター)

オンにするとレベルが上がります。ソロ演奏など、バックアップよりレベルを上げたいときや、楽曲の特定の場所でレベルを下げたいときなどに便利です。



[BOOST] ボタン

ブースターのオン／オフを切り替えます。オンにすると、ディスプレイにゲインの設定値が表示されます。【▼】【▲】ボタンで設定値を変更します。

設定値	説明
0 ~ 50 ~ 99	50 で、オン時とオフ時のレベルが同じになります。

FX LOOP (エフェクト・ループ)

SEND、RETURN 端子 (P.2) に接続した外部エフェクターのオン／オフを切り替えます。



[FX LOOP] ボタン

オン／オフを切り替えます。オンにすると、ディスプレイにリターン・レベルの設定値が表示されます。【▼】【▲】ボタンで設定値を変更します。

ANTI-FEEDBACK (アンチ・フィードバック)

ギターとアンプの位置や環境によって起こるハウリング（ブーンという音）を抑えます。

[REDUCTION] つまみ

アコースティック・ギターでハウリングしやすい低音域に特化した、音質劣化の少ない抑制機能です。つまみで抑制効果の強さを設定します。

ハウリングが発生すると特定の周波数のみ自動でハウリングを抑制します。



[NOTCH1]、[NOTCH2] ボタン

ハウリングを抑えたいポイント（ノッチ周波数）を設定します。[NOTCH1]、[NOTCH2] それぞれ1ポイント、合計2ポイント設定することができます。ハウリング発生時に自動でノッチ周波数を設定することもできます。

1. [NOTCH1] または [NOTCH2] ボタンを押して、オンにします。
ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

2. [▼] [▲] ボタンでハウリングが発生しているポイントを音名で設定します。

※ [NOTCH1]、[NOTCH2] を同時に押すと、ハウリングするポイントを自動的にスキャンして設定することができます。

設定値	説明
R, 1-F7	A#1 ~ F7。[#]はドット「J」で表示されます。

ACOUSTIC RESONANCE (アコースティック・レゾナンス)

アコースティック・ギターのボディの共鳴効果と、ピックアップのダイレクト音のバランスをつまみで調節します。

[TYPE] ボタン

使用するギターやセッティングに合わせて音色を補正します。



表示	ボタン	説明
oF OFF	消灯	オフ
nR NATURAL	緑	クセのないすっきりした音色
Wd WIDE	オレンジ	胸鳴りを響かせるふくよかな音色
br BRIGHT	赤	高域まで響くつややかな音色

COMP (コンプレッサー)

入力信号の音量を均一化します。アタックのピークを抑えることにより、入力感度を上げて歪みにくくなります。

つまみを右に回すと効果が強くなります。



[TYPE] ボタン

ボタンを押すたびに、オフ/ソフト/ハードが切り替わります。

DELAY/CHORUS (ディレイ/コーラス)

ディレイは、山びこのような効果です。元の音に対して遅れた音（ディレイ音）を加えることによって、音に空間的な広がりを与えます。

コーラスは、元の音に微妙に揺れる音を加えて、広がりや厚みのある美しい音色に変えるエフェクトです。



[TIME] つまみ

ディレイ時間を調整します。

[E.LEVEL] つまみ

ディレイ音量を調整します。

[TYPE] ボタン

ボタンを押すたびに、オフ/ディレイ/モジュレーション・ディレイ/リバーブ・ディレイが切り替わります。

[CHORUS] ボタン

コーラスのオン/オフ、コーラス・タイプを設定します。

表示	ボタン	説明
oF OFF	消灯	オフ
nR NORMAL	緑	つややかなコーラスサウンド
Wd MILD	オレンジ	なじみの良いやわらかなサウンド
br BRIGHT	赤	弦鳴りのきらびやかなコーラスサウンド

AMBIENCE (アンビエンス)

音に残響を加えるエフェクトです。

[E.LEVEL] つまみ

残響の音量を調整します。

[TYPE] ボタン

残響の長さを選びます。



表示	ボタン	説明
oF OFF	消灯	オフ
Sh SHORT	緑	短い残響
Wd MID	オレンジ	中くらいの残響
L LONG	赤	長い残響

エフェクトを設定する

サブ・パラメーターの設定

各エフェクトのボタンを長押しすると、さらに多彩な効果が得られます。

1. ボタンを長押しします。

ディスプレイに、パラメーター／設定値が表示されます。



2. [▼] [▲] ボタンで値を選びます。

ボタン	パラメーター	設定値	説明
INPUT			
SELECT	L _U LEVEL	0 ~ 50 ~ 99	インプット・セレクターの出力レベルです。CH1、2をブレンドしたときは両 CH の音量が変化します。
BOOST			
BOOST	L _n TONE	- 10 ~ 0 ~ 10	ブースター ON 時の音色を設定します。
FX LOOP			
FX LOOP	d ₅ DIRECT	0F、0n ※ RETURN 端子に外部機器が接続されている場合に設定可能です。	ダイレクト音をミックスします。
ANTI-FEEDBACK			
NOTCH 1、2	d _P DEPTH	1 ~ 20	ノッチ・フィルターのかかり具合を調節します。
ACOUSTIC RESONANCE			
TYPE	L _n TONE	- 10 ~ 0 ~ 10	アコースティック・レゾナンスが ON 時の音色を調節します。
COMP			
TYPE	R _t ATTACK	0 ~ 50 ~ 99	ピッキング時のアタックの強さを調節します。
DELAY			
TYPE	F _b FEEDBACK	0 ~ 99	ディレイの繰り返し回数を調節します。
	n _t NOTE	d、d. ⁷	ディレイの音の長さ(ノート)を設定します。 d = ♩ (4分音譜) d. ⁷ = ♩ (付点 8 分音譜)
	※ FEEDBACK と NOTE は [TYPE] ボタンでサブ・パラメーター設定モードに入ってから、再度 [TYPE] ボタンで切り替えます。		
CHORUS			
CHORUS	L _U LEVEL	0 ~ 99	エフェクト音のレベルを調節します。
AMBIENCE			
TYPE	L _n TONE	- 10 ~ 0 ~ 10	エフェクト音の音質を調節します。

ボタン	パラメーター	設定値	説明
EQ			
ON/OFF	n5 NOISE SUPPRESSOR	0 ~ 99	ノイズ・サプレッサーを設定します。
FREQ	n9 MID Q	0.5 ~ 16	このボタンで設定された周波数(P.6)を中心にEQのかかる範囲を調節します。値を大きくするほど範囲は狭くなります。

ルーパー

[DELAY] ペダルと [TUNER & MUTE] ペダルを同時に押すと、ルーパーが起動します。ルーパーが起動すると [TUNER & MUTE] ペダルの操作で、ギターを録音してループ・パフォーマンスをすることができます。



録音

[TUNER & MUTE] ペダルを踏むと、すぐに録音がスタートします。

ループしたいところでペダルを踏むと、再生に切り替わります。



ループ再生

ループ再生します。

[TUNER & MUTE] ペダルを踏むとオーバー・ダビングに切り替わります。



オーバー・ダビング

ループ再生しながら演奏を重ねて録音します。

[TUNER & MUTE] ペダルを踏むと再生に切り替わります。

停止／クリア

[TUNER & MUTE] ペダルを 2 回踏むと停止します。
停止中に [LOOP] ペダルを 2 秒以上踏むとフレーズをクリアします。

2 回踏む



ループ再生レベルの設定

再生レベルを 50（初期値）に設定すると、演奏している音量とループ再生の音量が同じになります。

再生レベルを 50 よりも小さい値に設定すると、演奏している音量よりも小さな音量で再生されます。これにより、録音を重ねていったときに、ループ再生音によって演奏している音が埋もれるのを防ぐことができます。

設定方法については、「出力の設定」(P.10) をご覧ください。

[LOOP] ペダルの色

[LOOP] ペダルの色	ディスプレイ表示	状態
赤	rL	録音
緑	PL	再生
オレンジ	db	オーバー・ダビング
緑（点滅）	St	停止（フレーズあり）
赤（点滅）	L	停止（フレーズなし）

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

進んだ使いかた

出力の設定

XLR OUT (L、R) 端子、LINE OUT (L/PHONES、R/MONO) 端子の出力レベルや、アンビエンス (P.7) の出力方法を設定することができます。



1. [MENU] ボタンを押します。



アウトプット設定モードになります。

2. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーターを選びます。

ボタンを押すたびに、以下のように切り替わります。

[PL] (PHONES LEVEL) → [HL] (XLR LEVEL) → [LL] (LOOP LEVEL) → [LP] (LOOP ACTION) → [H5] (XLR) → [L5] (LINE) → [2b] (GUITAR INPUT 2 FX BYPASS)

メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押すと、前のパラメーターに戻ることができます。

3. [▼] [▲] ボタンで、設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
PL (PHONES LEVEL)	PHONES 端子の音量を設定します。	
	0 ~ 99, Ln (OUTPUT LEVEL)	OUTPUT LEVEL はつまみの位置に連動 0 ~ 99 は固定値 (初期値: OUTPUT LEVEL)
HL (XLR LEVEL)	XLR 端子の音量を設定します。	
	0 ~ 99, Ln (OUTPUT LEVEL)	OUTPUT LEVEL はつまみの位置に連動 0 ~ 99 は固定値 (初期値: OUTPUT LEVEL)
LL (LOOP LEVEL)	0 ~ 99	ルーパの再生レベルです。
LP (LOOP ACTION)	ルーパの切り替え順序を設定します。	
	rP (REC→PLAY)	録音→再生→オーバーダビング (初期値)。
	rd (REC→DUB)	録音→オーバーダビング→再生

パラメーター	設定値	説明
H5 (XLR)、 L5 (LINE)	XLR、LINE 端子から出力する音を選びます。	
	MIX (MIX)	エフェクトのかかった音が出されます。 USB AUDIO の再生音もミックスされて出力します。
	PP (PRE/POST)	L: エフェクトがかかる前の音 (インプット・セレクターの出力) が出力されます。 R: エフェクトのかかった音が出されます。
	LH	L: GUITAR IN 2 の音が出されます。 R: GUITAR IN 1 の音が出されます。
2b (GUITAR INPUT 2 FX BYPASS)	oF、on	GUITAR INPUT 2 から入力された音にエフェクトを通すか、バイパスするか設定します。 オンにした場合、エフェクトがバイパスされ、ルーパとアンビエンスのみ効果がかります。 GUITAR IN 2 にギター以外の楽器を接続して、ルーパを重ねた演奏をすることができます。

アンビエンスの出力設定

アンビエンスの出力方法を設定することができます。XLR OUT、LINE OUT 両方へ出力、または XLR OUT、LINE OUT のいずれかのみに出力することができます。

1. [AMBIENCE OUT] ボタンを押して、出力方法を設定します。



ボタンを押すたびに XLR+LINE、XLR のみ、LINE のみ、両方オフが切り替わります。アンビエンスを出力する端子名のインジケータが点灯します。



メモ

[AMBIENCE OUT] ボタンを押すと、ディスプレイに機器全体のアンビエンス・レベルが表示されます。[▼] [▲] ボタンでレベルを設定します。

ライブの際など、現場に合わせてアンビエンス量を微調整するときに便利です。

ストップ・ペダルの設定

マニュアル/ストップ・モード (P.5) でペダルを踏んだとき、どのエフェクトをオン/オフするかをメモリーごとに設定することが可能です。

1. [MEMORY] ボタンを押しながら、エフェクトのオン/オフにしたいペダルを押します。

[MEMORY] ボタンと該当のペダルが赤点灯し、ストップ・ペダルの設定モードになります。

同時に、各エフェクトのボタンが点滅します。



※ ストップ・ペダルの設定ができるペダルは、「ペダルの機能を設定する」(P.12) で FX ON/OFF 機能が設定されているペダルです。

2. 各エフェクトのボタンを数回押して、ペダルを操作したときのエフェクトのオン/オフを設定します。



状態	説明
点灯	ペダルがオンのとき、エフェクトがオン。
点滅	ペダルがオンのとき、エフェクトがオフ。
遅い点滅	ペダル操作でエフェクトのオン/オフが切り替わらない。

3. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

メモリー/ストップ・モードのとき

4. 「メモリーの保存」(P.5) の手順で、設定を保存します。

システム設定

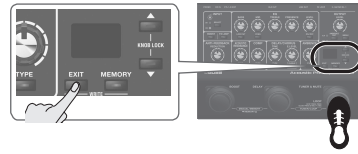
AD-10 全体の設定を「システム設定」と呼びます。

GUITAR IN 1、2 に個別の EQ を設定する

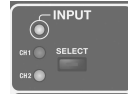
GUITAR IN 1、2 に個別の EQ を設定することができます。ピックアップの特性や環境に合わせた EQ の設定が可能です。

1. [EXIT] ボタンを押しながら、[TUNER & MUTE] ペダルを押します。

[MEMORY] ボタンが赤点灯、[TUNER & MUTE] ペダルが紫点灯します。



2. [SELECT] ボタンで EQ を設定するチャンネルを選びます。



3. 各つまみで EQ を設定します。

メモ

- [ON/OFF] ボタンを長押しすると、ノイズ・サプレッサーを設定することができます。ディスプレイに設定値が表示されます。[▼] [▲] ボタンで設定値を変更します。
- [FX LOOP] ボタンで位相を変えることができます。ボタンを押すたびに位相が反転します。

4. [EXIT] ボタンを押して、設定を終了します。

ペダルの機能を設定する

本体の各ペダルや、CTL1、2/EXP 端子に接続したフットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの機能を設定することができます。

→ 「フットスイッチやエクスプレッション・ペダルを接続する」(P.3)

1. [EXIT] ボタンを押しながら、[BOOST] ペダルを押します。
[MEMORY] ボタンが赤点灯、[BOOST] ペダルが紫点灯します。
2. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーターを選びます。
3. [▼] [▲] ボタンで値を選びます。
4. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

パラメーター	設定値	説明
EF (Exp Function)	ou	OUTPUT LEVEL
	an	AMBIENCE LEVEL
	LP	LOOP LEVEL
	mn	MEMORY/MANUAL
	tu	TUNER & MUTE ON/OFF
	tr	TUNER & MUTE ON/OFF (長押し: ANTI-FB SCAN)
	rt	ANTI-FB SCAN (長押し: TUNER&MUTE ON/OFF)
	fh	FX ON/OFF
	tt	TapTempo
	in	InSelect
	LP	LOOP REC/PLAY/DUB (2度押し: STOP、長押し: CLEAR)
	L5	LOOP STOP (長押し: CLEAR)
	LC	LOOP CLEAR
	R5	ANTI-FB SCAN (長押し: CLEAR)
	ni	MEMORY ▲ (CTL1: 初期値)
	nd	MEMORY ▼ (CTL2: 初期値)

その他の機能

1. [EXIT] ボタンを押しながら [DELAY] ペダルを押します。
[MEMORY] ボタンが赤点灯、[DELAY] ペダルが紫点灯します。
2. [MEMORY] ボタンを押して、設定するパラメーター(表参照)を選びます。

メモ

[EXIT] ボタンを押しながら [MEMORY] ボタンを押すと前のパラメーターに戻ることができます。

3. [▼] [▲] ボタンで値を選びます。
4. [EXIT] ボタンを押して、設定モードを抜けます。

パラメーター	設定値	説明
USB モニターの設定		
ud (USB ダイレクト・アウト)		AD-10 の音を XLR、LINE 端子から出力するかどうかを設定します。 ※ パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。 → https://www.boss.info/jp/support/
	oF	AD-10 の音は XLR、LINE 端子から出力されず、パソコン (USB) にのみ出力されます。AD-10 の音に DAW でプラグイン・エフェクトなどをかけて、アウトプット端子から出力したいときに使用します。
	on	AD-10 の音が XLR、LINE 端子から出力されます (初期値)。
ui (USB インプット・レベル)	0 ~ 55 ~ 99	USB AUDIO の入力レベル
uo (USB アウトプット・レベル)	0 ~ 55 ~ 99	USB AUDIO の出力レベル
オート・オフの設定		
Ro (Auto Off)		本機は、演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。 ※ 自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を「oF」(OFF) にしてください。
	oF	電源が切れません。
	on	10 時間経過すると自動的に電源が切れます (初期値)。
STARTUP MODE		
Sn (STARTUP MODE)		電源投入時のモードを選びます。
	1	マニュアル・モード (初期値)
	2	メモリー・モード
	3	メモリー・ストップ・モード

エフェクトごとのメモリー設定

各エフェクトを、メモリーごとに切り替えて使用するか、常につまみ位置 (MANUAL) で使用するかを設定することができます。たとえば、入出力や EQ は常に同じ設定で使用するが、ディレイやアンビエンスなどは切り替えたい、という設定ができます。



手順 1 の状態で、エフェクトの各ボタンを押して、点滅/点灯を切り替えます。

状態	説明
点灯	メモリーごとに切り替わる。
点滅	常につまみ位置になる。

工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

AD-10 の設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. NOTCH [1]、[2] ボタンを押しながら電源を入れます。



ディスプレイに「Fr」と表示され、[MEMORY] ボタンが点滅します。

※ ファクトリー・リセットをキャンセルするときは、電源を切ります。

2. [MEMORY] ボタンを押します。

ディスプレイが点滅し、ファクトリー・リセットが実行されます。

※ ファクトリー・リセットの実行中は、絶対に電源を切らないでください。

3. 「o」 と表示されたら、電源をオフにします。

主な仕様

ボス AD-10 : アコースティック・ブリアンプ

電源	AC アダプター (PSA-S シリーズ)、アルカリ電池 (単 3 形×6)
消費電流	300mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池 : 約 6 時間 ※ 使用状態によって異なります。
外形寸法	217 (幅) 161 (奥行) 65 (高さ) mm
質量	1.3kg (電池含む)
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、AC アダプター
別売品	エクスプレッション・ペダル : FV-500H、FV-500L フットスイッチ : FS-5U デュアル・フットスイッチ : FS-6、FS-7 EV-30、Roland EV-5

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意



警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.12)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



使用上のご注意

電池について

- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.14) に記載の記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 電池で使用するときはアルカリ電池を使用してください。
- 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できないときもあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社社のソフトウェアプラットフォーム [eParts™] が搭載されています。
- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社社の商標または登録商標です。
- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社

〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田 1-6-4